

「将来にわたって子どもの声が地域に響き、若者・子育て世代で賑わうまち」の実現

# ABIRA 2017⇒2026

## 第 2 次 安 平 町 総 合 計 画

ダイジェスト版



育てたい暮らしたい  
暮らしたい帰りたい  
みんなで未来へ駆けるまち



2017年3月策定

発行／安平町

〒059-1595 北海道勇払郡安平町早来大町95番地

TEL 0145-22-2511 (代表) URL <http://www.town.abira.lg.jp/>

企画・編集 安平町企画財政課

## ①総合計画の策定趣旨

第2次安平町総合計画は、目指すべきまちづくりの方向性を“まちづくりの将来像”として定め、町民と行政が力を合わせ、これを実現していくための“まちの羅針盤”となるものです。

## ②総合計画の構成と期間

### ●基本構想（10年間）

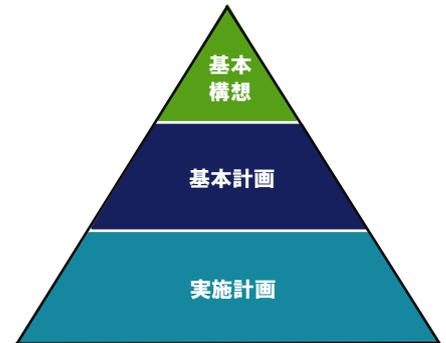
長期的な指針として、当町の将来像や施策の大綱を示すものです。

### ●基本計画（前期2年間、中期4年間、後期4年間）

基本構想を実現するための中期的な指針となるものです。項目別に現状と課題、施策や事業の方向性などを示し、施策の達成度を測るための成果指標を設定します。

### ●実施計画（3年間とし、毎年度見直し）

基本計画に基づいた主要事業の具体的内容を集約するものです。（予算編成の指針）



## ③総合計画の特徴

### ●多くの町民の声を取り入れた計画づくり

安平町まちづくり基本条例に基づき、様々な町民参画の機会を設定し、多くの町民の声を取り入れながら計画づくりを行いました。

#### 【計画策定における「町民参画」の実施状況】

- 安平町未来創生委員会（H27. 6月～）
- 安平町まちづくり町民アンケート調査（H27. 9月）
- あびら夢・未来100人町民フォーラム（H28. 2月）
- 政策提案制度の活用（H28. 3月）
- 町内団体との意見交換会（団体ヒアリング）（H28. 5月）
- 町民まちづくり会議（H28. 6～9月）
- 第2次安平町総合計画に係る町民説明会（H29. 2月）



### ●SWOT分析を活用した計画づくり

地域資源から「まちの強み」を抽出し、これを活用してまちづくりを進めるため、民間の経営分析手法である「**SWOT**(スウオット)分析」を行政版に修正して活用しています。

#### <SWOT分析とは>

当町の内部環境「強み」「弱み」、当町を取り巻く外部環境「機会」「脅威」を洗い出し、これらをクロス分析することで「成長させるべきもの」、「やり方を変えて行すべきもの」などを明らかにする手法です。

#### 【SWOT分析】“まちの強み”をどう活かすかが重要

	内部環境	当町の強み (Strength)	当町の弱み (Weakness)
外部環境			
機会（追い風） (Opportunity)		<b>【①成長戦略】</b> <b>強み×機会</b> 「強み」によって「機会」をさらに活かす方策	<b>【③改善戦略】</b> <b>弱み×機会</b> 「機会」を逃さぬよう「弱み」を改善する方策
脅威（逆風） (Threat)		<b>【②差別化戦略】</b> <b>強み×脅威</b> 「強み」によって「脅威」に対抗する方策	<b>【④回避戦略】</b> <b>弱み×脅威</b> 「弱み」と「脅威」が重なる最悪の事態を回避する方策

- 強み×機会 = ①成長戦略 ⇒ (積極推進) …成長機会を逃さない
- 強み×脅威 = ②差別化戦略 ⇒ (差別化) …強みで逆風を味方に
- 弱み×機会 = ③改善戦略 ⇒ (弱点強化) …手法を変えて改善
- 弱み×脅威 = ④回避戦略 ⇒ (問題回避) …発想の転換で問題回避



# 町民の声に基づいた「まちの強み」と「まちの弱み」の分析

㊦⇒まちづくり町民アンケート ㊧⇒あびら夢・未来100人町民フォーラム ㊨⇒団体ヒアリング ㊩⇒町民まちづくり会議

## ①生活環境・生活基盤分野に対する町民の声

### まちの良いところ

- ㊦ インターチェンジがあり、空港や都市にも近く、車があれば便利な場所です。
- ㊧ 北海道らしい風景が広がり自然が豊かで健康的にのんびり過ごせます。
- ㊨ 地価が安く、気候も良く、大きな災害も少ないまちです。
- ㊩ 都会にこれほど近いのにエゾモモンガなど希少動物が身近に生息しています。
- ㊦ ときわ公園・鹿公園など身近な場所に遊びに行ける公園があります。



### 改善が必要なところ

- ㊦ 都市に近いのに、交通機関の便が悪く、地理的優位性が活かしきれていません。
- ㊧ 早来や追分の市街地以外は情報通信網の整備が遅れています。
- ㊨ 追分若草地区は高齢化が進んでいて、今後空き家が増えていくと思います。
- ㊩ 道路の雑草がひどく、町内施設の統一感も無く、良い景観なのにもったいないです。

## ②経済・産業分野に対する町民の声

### まちの良いところ

- ㊧ 大きな企業が立地し、周辺都市から多くの方が通勤しています。
- ㊨ 農業が盛んで、アサヒメロンや和牛など生産者の技術も高いと思います。
- ㊦ 世界に誇る軽種馬産地であり、日本の競馬ファンに注目されています。



### 改善が必要なところ

- ㊦ 商店街に活気がなく、廃業する商店も多く、町内での買い物がとても不便です。
- ㊦ 若者を増やすには雇用の確保が重要ですが、安平町には若者が希望する仕事が少ないと思います。
- ㊧ 基幹産業である農業を守る必要があり、新規就農者の獲得が必要だと思います。
- ㊦ 温泉や牧歌的な風景など地域の観光資源が活かしきれていないと思います。
- ㊦ 町の知名度を高め、交流人口から移住定住人口へとつなげる政策展開を希望します。

## ③健康・福祉分野に対する町民の声

### まちの良いところ

- ㊧ 病院経営を行う自治体が多いなか、安平町は医療、福祉、介護を担う民間法人があります。
- ㊧ 高齢化率は高いけれど、元気な高齢者による福祉ボランティア活動が盛んで、独自に高齢者の見守りや声かけが行われています。

### 改善が必要なところ

- ㊦ 総合病院が町内にないので、別のまちへ車で通院していますが、将来運転ができなくなることを考えると本当に不安です。
- ㊦ 高齢者は確実に増加するので、高齢者施設の充実を望みます。
- ㊨ ボランティアの担い手が不足していて、既に活動が限界にきています。
- ㊧ 時間に余裕がある元気な高齢者がいるのに地域で活躍できる場がありません。





#### ④子育て・教育分野に対する町民の声

##### まちの良いところ

- ㊦ 地域に2つの公私連携幼保連携型認定こども園が整備され、子育て環境の充実に期待がもてます。
- ㊤ コミュニティ・スクールや学社融合体制、幼保小中高の連携が確立しています。
- ㊤ 児童・生徒数が少ないのに文化、スポーツ活動で全国大会・全道大会レベルの活躍が多いです。

##### 改善が必要なところ

- ㊦ 20年、30年後を見据えて、子育て支援にしっかり取り組み、人口減少に歯止めをかけるべきです。
- ㊤ 子どもの数が減少し、子ども会活動や少年団活動に支障が出てきています。
- ㊤ 雨の日や冬の期間に子どもが遊べる場所がありません。
- ㊤ 宅地や団地に公園はありますが、遊具が古いので子どもにとって魅力がありません。
- ㊦ 子どもの数が減少しているからこそ、子育て支援サービスや教育を充実させるべきだと思います。

#### ⑤人・コミュニティ分野に対する町民の声

##### まちの良いところ

- ㊤ まちづくり基本条例が制定され、町民主体のまちづくりの基礎が構築されています。
- ㊤ 価値観が多様化する現代社会においてコミュニティ活動が未だに機能しています。
- ㊤ 鉄道資料館のS Lは保存状態が良く、まちづくりに活用できると思います。

##### 改善が必要なところ

- ㊤ 未だに早来と追分の地域間に“見えない壁”を感じます。
- ㊦ 地域交流、地域イベントが少なく、まちに活気がありません。
- ㊤ 人口減少と少子高齢化により自治会・町内会等の存続が危ぶまれ、今後再編の議論が必要です。
- ㊦ 行政主導から町民主導のまちづくりへ転換していくべきです。
- ㊤ 地域のリーダー人材が不足していて、最近では活動に対する町民協力も少なくなってきました。



#### ⑥行財政運営分野に対する町民の声

##### まちの良いところ

- ㊦ 行政が身近で、住民意見を政策に反映させるスピードは都会よりも早いと感じます。

##### 改善が必要なところ

- ㊤ 「施策のPR」が下手。良い制度を作っても町民への周知が少なく、理解されていません。
- ㊦ 施策や事業の検証が必要です。無駄な公共事業や“箱物”はやめるべきだと思います。
- ㊦ 国や北海道に頼らない行政を目指し、将来に向けて借金を減らすべきだと思います。
- ㊤ もっと役場職員は地域の中に入って、町民活動に協力するべきだと思います。





## ① 目指すべきまちづくりの方向性

将来に向けてどのようなまちづくりを進めていくべきか、町民と町職員がワークショップ形式で行った『町民まちづくり会議』において「目指すべきまちづくりの方向性」を話し合いました。



あらゆる世代の町民が希望する究極の目標を“全ての世代が安平町に住んで良かったと思えるまち”とし、これを実現するには、まちづくりの原動力となる子ども・若者・子育て世代が住み続けていられる環境が必要であることが確認されました。

### 【町民まちづくり会議で確認された“目指すべきまちづくりの方向性”】

#### 【究極の目標】

- ◇生きることを楽しめるまち
- ◇ここに住んで良かったと思えるまち
- ◇(安)心が(平)穏やかになるまち
- ◇活気のあるまち
- ◇居心地のよさを感じられるまち
- ◇楽しいまち

#### 【より具体的な目標】

- ◇若者が住みやすいまち
- ◇教育と子育てで選ばれるまち
- ◇高齢者も楽しく活躍できるまち
- ◇老後も安心して生活できるまち
- ◇暮らす人々が役割を感じられるまち
- ◇助け合えるまち

- ・ 増えていく高齢者を地域全体で支えていくには、若い人の力が必要
- ・ 「若い人たちがたくさんいるまち」「子どもたちがたくさんいて賑わうまち」を目指すべき
- ・ 巣立つ子どもたちがまた帰ってくるまちが理想（人口減少に歯止めがかかる）
- ・ 元気な高齢者が共働き世帯の子育て支援などを通じて地域で活躍する姿が理想

全ての世代が安平町に住んで良かったと思えるまちづくりを進めるためには、子ども・若者・子育て世代による賑わいが不可欠

### 目指すべきまちづくりの方向性

『将来にわたって子どもの声が地域に響き、若者・子育て世代で賑わうまち』

## ② 目指すべきまちづくりの方向性の実現に向けた「優先すべき分野」

“将来にわたって子どもの声が地域に響き、若者・子育て世代で賑わうまち”の実現に向け、「どの分野を成長させれば最も成果を生むか」という視点に立ち、多くの町民参画で寄せられた声から“まちの強み”を整理・分析し、最も優れたまちの強みを持つ政策分野を「子育て・教育分野」であると結論付けています。

(目指すべきまちづくりの方向性)

将来にわたって子どもの声が地域に響き、若者・子育て世代で賑わうまち

多くの町民参画で寄せられた声から“まちの強み”を整理・分析			
立地 地勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆新千歳空港や苫小牧港など交通拠点に至近</li> <li>◆鉄道網やインターチェンジが立地</li> </ul>	健康 ・ 福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域福祉を支える住民ネットワークが確立</li> <li>◆地域医療・高齢者福祉事業・しょうがい者福祉事業を展開する民間法人が存在</li> </ul>
生活環境 ・ 生活基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆希少生物が生息する自然豊かな生活環境</li> <li>◆恵まれた立地と自然環境が調和した暮らしやすさ</li> <li>◆気象条件に恵まれ大災害が少ない環境</li> <li>◆丘陵が織り成す北海道らしい牧歌的な風景</li> <li>◆石狩・空知に近接しているが降雪量は少ない</li> <li>◆日本最大級のメガソーラー発電所と世界最大級の蓄電施設が立地</li> </ul>	子育て ・ 教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆登下校時の見守りボランティア活動など、地域で子どもを育てる意識の強さ</li> <li>◆待機児童ゼロ（2016年）</li> <li>◆公私連携幼保連携型認定こども園の整備</li> <li>◆「子育てしやすい街ランキング（2015年）」全道2位</li> <li>◆18歳までの子ども医療費の無料化を実現</li> <li>◆少ない児童生徒数にありながら文化・スポーツ活動で全道・全国レベルの活躍が顕著</li> <li>◆積極的な就労支援などで注目される誘致企業会と追分高等学校による連携活動</li> <li>◆全ての認定こども園・小中学校にコミュニティ・スクールを設置</li> <li>◆幼保小中高の連携体制が確立</li> </ul>
経済 ・ 産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆雇用を生む、規模の大きな企業が町内に立地</li> <li>◆昼夜間人口比率の高さという他の過疎地域にはない特殊性</li> <li>◆名馬が集まる日本有数の軽種馬産業</li> <li>◆多種多様な農業を展開（少量多品種）</li> <li>◆有機農業と慣行農法の共存に寛容な農業文化</li> <li>◆ブランド品の存在（アサヒメロン、和牛など）</li> <li>◆約75haの作付面積を誇る丘陵に咲く菜の花畑</li> <li>◆多数のCM撮影が行われる景観を保有</li> <li>◆プロゴルフツアー開催の名門コースを含むバリエーションに富んだゴルフ場の存在</li> </ul>	人づくり ・ コミュニティ (生涯学習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆まちづくり基本条例・まちづくりファンド（町民基金）の設置</li> <li>◆地域コミュニティ活動が健在で防災や高齢者対策など自助・共助・公助の役割分担が機能</li> <li>◆屋内アイスアリーナ・鉄道資料館など近隣には無い希少スポーツ施設・文化施設の存在</li> </ul>
		行財政 運 営	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆行政と住民の距離が近く住民意見の政策反映スピードが速い</li> </ul>

「最も優れたまちの強み」を持ち、優先すべき政策分野



子育て・教育



子育て・教育分野の成長によって、その効果が発揮される政策分野



移住・定住対策 & 回遊・交流促進





都会に比べて、多くの町民がまちづくりに関わりを持っている安平町。

特に、世界で活躍するスポーツ選手を多数輩出する伝統を持つ当町では、未来を担う子どもの可能性と希望をみんなで応援しようという歴史が長年受け継がれ、地域の大人が先生、まちが1つの学校・家族となり、体験活動や文化・スポーツなど様々な場面で子育てや教育が支えられています。

これが最も優れた“あびらの強み”です。

地域の支えにより育てられた子ども達は、やがて立派な若者へと成長し、自分の可能性を信じて、外の世界へと羽ばたいていきますが、泥だらけになって遊んだ子どもの頃の記憶、心温まる人情深い地域の人たちとのふれあいは、忘れられない情景として心に刻まれ、たとえ離れて暮らしていてもふるさとを思う気持ちを呼び起こすでしょう。

地域全体で子どもを育てるという“あびらの強み”を更に伸ばすことは、子ども達に楽しい体験を与え、このまちに住む子育て世代に安心感をもたらし、子どもとのふれあいを通じて高齢者の生きがいを高め、このまちに暮らし続けたいと思う気持ちへとつながり、同時に、都会に住む若者や子育て世代からも共感を生み、あの町で暮らしたい、あの町で子どもを産み育てたいという“選ばれるまち”へと結びつくでしょう。

『将来にわたって子どもの声が地域に響き、若者・子育て世代で賑わうまち』を目指し、最も優れた“あびらの強み”を活かして、あらゆる世代の人たちができる範囲でまちづくりに関わりながら、“みんなでこのまちの未来を創る”“未来に向かって駆けて行く”そんな姿をイメージし、まちづくりの将来像を次のとおり定めます。

## 育てたい 暮らしたい 帰りたい みんなで未来へ駆けるまち

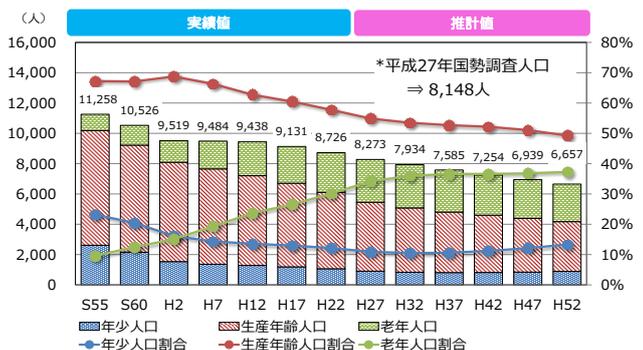
### 指標①・・・目標人口

平成28(2016)年1月に策定した安平町まち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げた人口ビジョンの将来展望人口を基に次のとおり設定します。

平成27(2015)年の国勢調査人口 8,148人



平成38(2026)年の目標人口 7,500人



### 指標②・・・まちへの愛着度と定住意向の向上

まちづくりの将来像を実現するためには、現在住んでいる町民、特に次の10年、20年を担う若い人たちに「このまちが好き(愛着度)」「このまちで暮らし続けたい(定住意向)」と感じてもらうことが重要であることから、これを指標として設定し、第3次安平町総合計画の策定段階で検証します。

このまちが好きな人

現状値 70%



目標値 90%

暮らし続けたい人

現状値 73%



目標値 90%

\*愛着度と定住意向の現状値：平成27(2015)年に実施した「まちづくり町民アンケート」の回答結果



# 総合計画における施策の体系

総合計画における施策の体系は、重点的かつ横断的に取り組む「重点プロジェクト」、町政全般を6つの分野に区分した「政策分野」、各分野に関連する施策を細分化した35本の「基本施策」、そして、基本施策ごとに取り組む戦略を定めた105本の「施策項目」で構成します。(施策項目は9ページ以降に掲載)



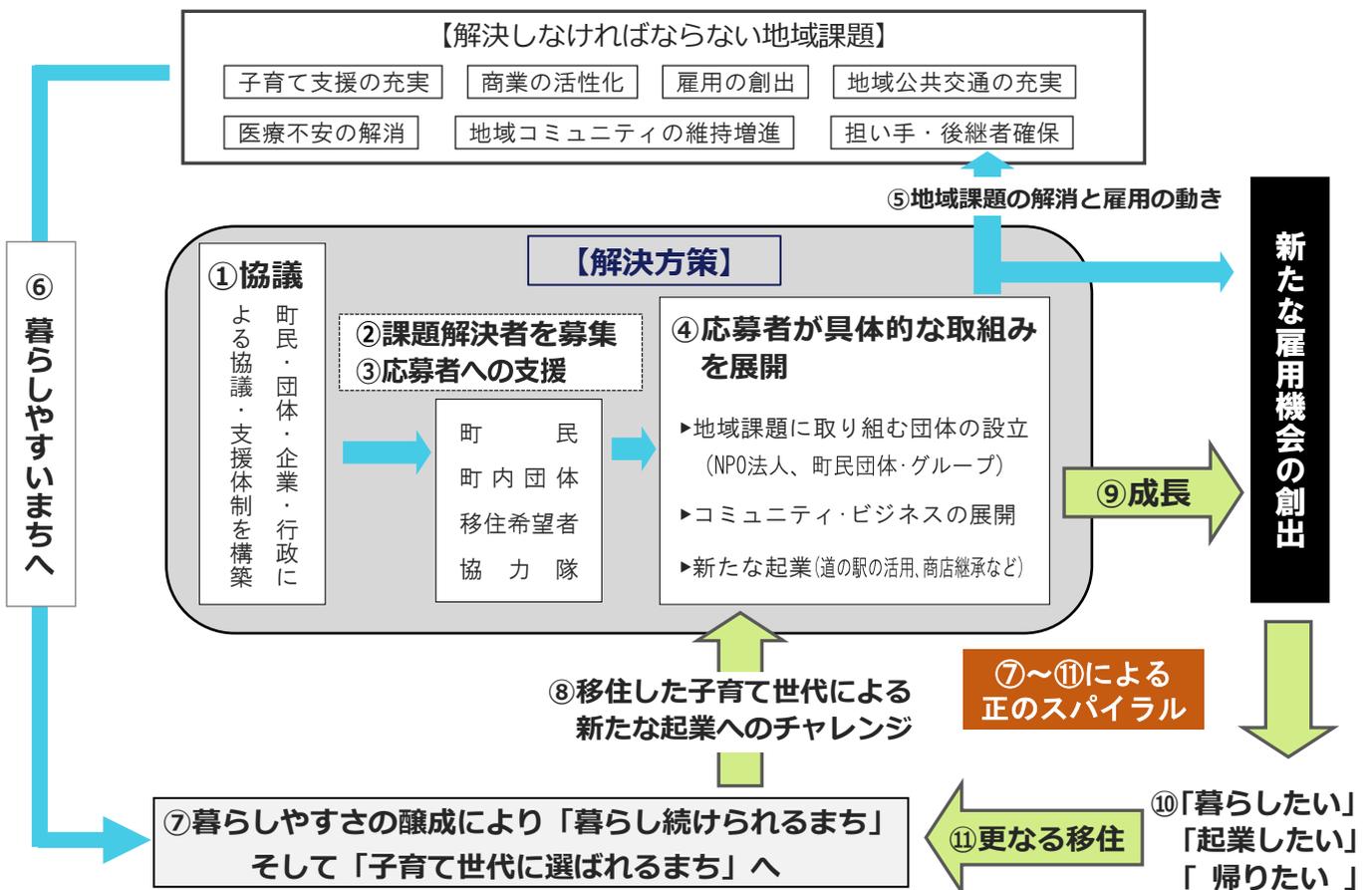


## チームあびら「安心・平和な生活実現プロジェクト」

地域課題を解決するコミュニティ・ビジネスを活用した子育て世代の移住促進

- ▶まちづくりの将来像⇒「育てたい 暮らしたい 帰りたい（と思える安平町を）」「みんなで（町民と行政の協働で）」「未来へ駆けるまち（実現していく）」
- ▶一方、町民から多くの地域課題に対する改善を求める声がある ⇒ 将来像の実現において「大きな障害」
- ▶全ての世代が安平町に住んで良かったと思える「安心・平和な生活の実現」に向け、地域課題から「仕事」を生み出す仕組みをつくり、地域住民や若者・子育て世代などの移住者がビジネスの手法を用いて地域課題を解決

### 重点プロジェクトの推進に向けたフローチャート



#### <手順>

- ①地域別で町民と行政による「協議の場」を設定し、地域課題や支援策を協議
- ②地域課題を解決する人材・団体の募集（町民・町内団体・移住希望者・地域おこし協力隊など）
- ③協議の場が「地域協議会・支援体制」となり、応募者への人的・物的な支援
- ④支援を受けた町民・町内団体・移住者・地域おこし協力隊が具体的な取組みを展開
- ⑤個別の地域課題の解消とともに、ビジネス・起業によって新たな雇用の動きが発生
- ⑥課題解消に伴い、少しずつ暮らしやすいまちへ

- ⑦暮らしやすさの醸成により「暮らし続けられるまち」「子育て世代に選ばれるまち」へ
- ⑧移住した子育て世代による新たな起業へのチャレンジ
- ⑨ビジネスの成長・拡大により更なる雇用の創出へ
- ⑩安平町のイメージ「暮らしたい」「起業したい」「帰りたい」へ
- ⑪更なる移住者を獲得

『正のスパイラル』

## I 子育て・教育分野

基本施策と施策項目 ㊦:成長戦略 ㊧:差別化戦略 ㊨:改善戦略 ㊩:回避戦略

### 基本施策1（子育て支援） 地域で子どもを産み育てられる環境づくりの推進

#### 【施策項目】

- ㊦子育て支援サービス・情報提供・相談体制の充実
- ㊦妊娠期・乳児期・幼児期など母子保健事業の推進
- ㊦しょうがいのある児童・生徒・家庭に対する地域支援の充実
- ㊧ひとり親家庭や多子世帯への子育て・教育支援の充実
- ㊨結婚・妊娠・出産に対する支援の充実

- ー前期基本計画期間の主な取組みー
- ▶「子育て世代包括支援センター」の設置に向けた検討
  - ▶子ども医療費の無償化
  - ▶特定不妊治療費の助成

### 基本施策2（就学前教育） 子どもが安心して遊び・学べる環境づくりの推進

#### 【施策項目】

- ㊦認定こども園を拠点とした特色ある就学前教育の充実
- ㊦遊びながら学べる空間・施設の充実

- ー前期基本計画期間の主な取組みー
- ▶民間法人による「認定こども園」を拠点とした特色ある就学前教育

### 基本施策3（学校教育） 夢と希望を実現する力を育む学校教育の充実

#### 【施策項目】

- ㊦コミュニティ・スクールを核とした学校教育の充実
- ㊧グローバル人材の育成に向けた学力・学習の強化
- ㊦小規模校の特性を活かしたきめ細かい指導の推進
- ㊦児童・生徒の体力向上の推進
- ㊩計画的な学校教育施設等の整備・改修・長寿命化等の推進

- ー前期基本計画期間の主な取組みー
- ▶開かれた特色ある学校づくり
  - ▶新聞を授業に活用した「NIE教育」
  - ▶小中一貫校（教育）の導入
  - ▶公民館図書室と学校図書室の蔵書共有・ネットワーク化

### 基本施策4（追分高等学校） 地域と連携した追分高等学校の魅力づくりへの支援

#### 【施策項目】

- ㊦地域企業との連携による追分高等学校の特色ある取組みへの支援
- ㊩追分高等学校の存続に向けた町民気運の醸成

- ー前期基本計画期間の主な取組みー
- ▶安平町誘致企業会等と連携した町内雇用体制の確立
  - ▶追分高等学校存続支援協議会との連携

### 基本施策5（家庭教育） 家庭・地域の教育力の強化

#### 【施策項目】

- ㊦地域力による子どもの健全育成活動の推進
- ㊩家庭教育力の向上の推進

- ー前期基本計画期間の主な取組みー
- ▶児童館・放課後児童クラブの指定管理体制への移行

### 基本施策6（青少年教育） まちへの愛着と誇りを育む「ふるさと教育」の推進

#### 【施策項目】

- ㊦地域が一体となったふるさと教育・学社融合の充実
- ㊦各種体験活動や学習活動を通じた子どもの放課後対策の推進
- ㊦青少年の文化・スポーツ活動への支援

- ー前期基本計画期間の主な取組みー
- ▶各学校授業への地域人材・活動の活用
  - ▶ふるさと教育・学社融合事業
  - ▶トップアスリート育成・支援

## Ⅱ 人づくり・コミュニティ分野

基本施策と施策項目 ㊦:成長戦略 ㊧:差別化戦略 ㊨:改善戦略 ㊩:回避戦略

### 基本施策1 (地域コミュニティ) 地域コミュニティ活動の活性化の推進

【施策項目】

- (1) ㊦自治会・町内会等の育成と支援の強化
- (2) ㊦まちづくりファンド(町民基金)を通じた自主的活動への支援

ー前期基本計画期間の主な取組みー

- ▶町民協働による「協議の場」の設定
- ▶町民自主的まちづくり事業への支援

### 基本施策2 (協働のまちづくり) 多様な主体と行政による協働のまちづくりの推進

【施策項目】

- (1) ㊦町民活動団体の育成と支援の強化
- (2) ㊦「新しい公共」の担い手育成に向けた取組みの推進

ー前期基本計画期間の主な取組みー

- ▶地域課題の解決に向けたコミュニティ・ビジネスの推進

### 基本施策3 (生涯学習・社会教育) 将来のまちづくりを担う人材の育成

【施策項目】

- (1) ㊦生涯学習社会の実現に向けた学習機会の提供
- (2) ㊩まちづくりの担い手育成に主眼を置いた青年・成人教育の推進
- (3) ㊩生涯学習施設の整備・改修・長寿命化等の推進

ー前期基本計画期間の主な取組みー

- ▶公民館活動の充実
- ▶若者主催の事業や活動等への支援
- ▶安平公民館の改修

### 基本施策4 (芸術・文化) 芸術文化の振興と文化財の保護・活用

【施策項目】

- (1) ㊦芸術文化に触れる機会の提供と活動団体の育成
- (2) ㊦文化財の保全・活用の推進

ー前期基本計画期間の主な取組みー

- ▶民間企画型ロビーコンサートの充実
- ▶郷土資料のデジタルアーカイブ化

### 基本施策5 (スポーツ振興) 生涯スポーツの振興

【施策項目】

- (1) ㊦スポーツ団体の育成
- (2) ㊦生涯スポーツ活動の推進
- (3) ㊩スポーツ施設の整備・改修・長寿命化等の推進

ー前期基本計画期間の主な取組みー

- ▶各種教室やスポーツイベントの開催
- ▶民間活力による新たな合宿施設の整備検討

### 基本施策6 (男女共同参画) 平等と多様性を尊重した社会づくりの推進

【施策項目】

- (1) ㊦平等と多様性を尊重した社会の構築
- (2) ㊦男女がともに活躍できる社会の構築

ー前期基本計画期間の主な取組みー

- ▶安平町いじめゼロ子ども会議
- ▶安平町男女共同参画基本計画の改訂

### 基本施策7 (交流) 地域間交流・国際交流の推進

【施策項目】

- (1) ㊦交流・定住外国人との国際理解活動・国際交流の推進
- (2) ㊦地域間の交流活動の推進

ー前期基本計画期間の主な取組みー

- ▶各種団体活動を通じた住民相互交流
- ▶東京都世田谷区との連携

### Ⅲ 経済・産業分野

基本施策と施策項目 ㊦:成長戦略 ㊧:差別化戦略 ㊨:改善戦略 ㊩:回避戦略

#### 基本施策 1 (農林業) 持続可能な農林業の振興

【施策項目】

- (1) ㊦農産物のブランド化と6次産業化の推進
- (2) ㊦経営力の強化と生産性の向上による持続可能な農業の推進
- (3) ㊧農業基盤整備の推進
- (4) ㊨意欲ある新規就農者の確保と育成の強化
- (5) ㊩森林資源の適正な保全と活用の推進

- ー前期基本計画期間の主な取組みー
- ▶地域おこし協力隊による地場農産物を活用した6次産業化・商品開発の取組み
- ▶道営農地整備事業（畑地帯担い手育成型）追分地区・春日地区
- ▶新規就農対策事業

#### 基本施策 2 (企業誘致) 恵まれた立地条件を活かした企業誘致の促進

【施策項目】

- (1) ㊦町内立地企業への支援策強化による地域雇用力の確保
- (2) ㊩ターゲットを定めた戦略的企業誘致の推進

- ー前期基本計画期間の主な取組みー
- ▶若者雇用促進助成事業の創設
- ▶北町工業団地販売促進キャンペーン

#### 基本施策 3 (産業振興・雇用就労) 産業振興と雇用・就労対策の促進

【施策項目】

- (1) ㊧若者の町内就労支援の促進
- (2) ㊦地域特産品開発と販路拡大策の連動による新たな地域産業の創出
- (3) ㊦創業等支援事業計画に基づく起業・創業の促進
- (4) ㊦シルバー世代の就労促進

- ー前期基本計画期間の主な取組みー
- ▶U・I・Jターン促進に向けた新制度の創設検討
- ▶創業等支援事業計画に基づく起業・創業支援

#### 基本施策 4 (観光) 公民連携による回遊・交流事業の促進

【施策項目】

- (1) ㊦公民連携による回遊・交流ステーション形成事業の推進
- (2) ㊦公共施設を活用した合宿誘致事業の推進
- (3) ㊦道の駅建設など交流拠点施設の整備
- (4) ㊦グリーンツーリズムの推進

- ー前期基本計画期間の主な取組みー
- ▶交流人口拡大に向けた回遊・交流ステーション形成事業の展開
- ▶「(仮称)道の駅あびら」の整備
- ▶グリーンツーリズム計画の策定

#### 基本施策 5 (商業) 交流人口の拡大と連動した商業の活性化

【施策項目】

- (1) ㊩回遊・交流事業を活用した商業活性化の推進
- (2) ㊩空き店舗の活用等による商業後継者対策の推進

- ー前期基本計画期間の主な取組みー
- ▶商店街ポイントシステムの導入支援
- ▶商工業事業後継者の確保



## IV 健康・福祉分野

**基本施策と施策項目** ㊦:成長戦略 ㊧:差別化戦略 ㊨:改善戦略 ㊩:回避戦略

### 基本施策1 (保健) 町民との連携・協働による健康づくりの推進

**【施策項目】**

- (1) ㊦地域ぐるみによる健康寿命の延伸に向けた取組みの強化
- (2) ㊦医療機関との連携による健康診査、各種検診、予防接種等の充実

- 前期基本計画期間の主な取組み—
- ▶公共施設を活用した健康寿命延伸に向けた取組み

### 基本施策2 (医療) 地域医療体制の確保

**【施策項目】**

- (1) ㊧町内医療機関に対する支援策の強化
- (2) ㊩「かかりつけ医」等の普及・定着の推進
- (3) ㊩救急・医療体制の充実にに向けた広域連携の推進

- 前期基本計画期間の主な取組み—
- ▶医師確保等支援事業
- ▶休日・夜間医療体制確保事業
- ▶広域救急医療対策事業

### 基本施策3 (地域福祉) 支え合いと助け合いによる地域福祉の推進

**【施策項目】**

- (1) ㊦地域福祉ネットワークの充実・強化
- (2) ㊦新しい公共の担い手との協働による福祉サービスの推進

- 前期基本計画期間の主な取組み—
- ▶地域支え合い活動推進事業
- ▶コミュニティ・ビズ 初の推進（再掲）

### 基本施策4 (しょうがい者福祉) 共生社会の実現に向けたしょうがい者福祉の推進

**【施策項目】**

- (1) ㊦しょうがい者福祉サービスの推進
- (2) ㊩しょうがい者の生活機能の充実にに向けた広域連携の推進

- 前期基本計画期間の主な取組み—
- ▶第5期安平町しょうがい福祉計画の策定

### 基本施策5 (高齢者福祉) シルバー世代が活躍できる社会の推進

**【施策項目】**

- (1) ㊦多様な社会活動を通じた高齢者の生きがいづくりの推進
- (2) ㊦地域包括ケアシステム構築に向けた取組みの推進
- (3) ㊧住み慣れた地域で暮らすための支援の充実
- (4) ㊦高齢社会に対応した介護サービス基盤整備の促進

- 前期基本計画期間の主な取組み—
- ▶高齢者大学や老人クラブなどの支援を通じた高齢者の生きがいづくりの強化
- ▶民設民営による「小規模特別養護老人ホーム」の整備

### 基本施策6 (社会保障) 社会保障制度の充実

**【施策項目】**

- (1) ㊩介護保険事業の適正な運用
- (2) ㊩国民健康保険事業・後期高齢者医療事業の適正な運用
- (3) ㊩国民年金制度の啓発

- 前期基本計画期間の主な取組み—
- ▶平成30年度から始まる国民健康保険制度の都道府県単位化への円滑な移行

## V 生活環境・生活基盤分野

基本施策と施策項目 ㊦:成長戦略 ㊧:差別化戦略 ㊨:改善戦略 ㊩:回避戦略

### 基本施策1 (環境・景観保全) 豊かな自然環境・美しい景観の保全と活用

【施策項目】

- (1) ㊦自然環境の保全と活用に向けた取組みの推進
- (2) ㊦美しい景観の保全と活用に向けた取組みの推進
- (3) ㊧公害防止対策の推進
- (4) ㊩計画的な斎場・墓地の整備・改修・長寿命化等の推進

- ー前期基本計画期間の主な取組みー
- ▶ 民有林振興対策・町有林管理
  - ▶ 瑞穂ダム及び周辺における有効活用策の検討

### 基本施策2 (循環型社会) 資源循環型社会の構築

【施策項目】

- (1) ㊦ごみの減量とリサイクル運動の推進
- (2) ㊧節電・省エネルギー対策の推進
- (3) ㊧地域特性を活かした再生可能エネルギーの利活用の推進

- ー前期基本計画期間の主な取組みー
- ▶ 公共施設・防犯灯LED化
  - ▶ 水素エネルギーなど次世代エネルギーの活用調査・研究

### 基本施策3 (土地利用) 効果的な土地利用の推進

【施策項目】

- (1) ㊩計画的な土地利用の検討
- (2) ㊩都市計画区域及び用途地域の見直しの検討

- ー前期基本計画期間の主な取組みー
- ▶ 安平町都市計画マスタープランの改訂(都市計画区域・用途地域の見直し)

### 基本施策4 (生活インフラ) 住民生活を支えるインフラ整備の推進

【施策項目】

- (1) ㊦子ども・子育て世代の視点を意識した公園・緑地整備等の推進
- (2) ㊦多様なニーズに対応した情報通信基盤整備の推進
- (3) ㊩計画的な道路網等の整備・修繕・長寿命化と協働による道路美化活動の推進
- (4) ㊩計画的な上下水道の整備・改修・長寿命化の推進

- ー前期基本計画期間の主な取組みー
- ▶ 柏が丘公園整備事業
  - ▶ 公共施設Wi-Fi整備の検討
  - ▶ 町道整備事業
  - ▶ 追分地区簡易水道再編推進事業

### 基本施策5 (住環境整備) 多様なニーズに対応した住環境の整備

【施策項目】

- (1) ㊦空き家・町有地等の利活用による多様な住居ニーズへの対応
- (2) ㊧民間資金等を活用した新たな分譲宅地の開発の検討
- (3) ㊩計画的な公営住宅等の整備・改修・長寿命化等の推進

- ー前期基本計画期間の主な取組みー
- ▶ (仮称) 安平町空家等対策計画の策定
  - ▶ 空き家(中古住宅)の利活用策の展開
  - ▶ 新たな分譲宅地の開発に向けた検討

### 基本施策6 (移住・定住対策) 職住近接を目指した移住・定住対策の推進

【施策項目】

- (1) ㊦仕事情報の提供との連動によるU・I・Jターンの促進
- (2) ㊦町内企業に通勤する子育て世代を対象とした移住促進の強化
- (3) ㊦多様なニーズに即した移住・定住促進制度の充実
- (4) ㊩広域連携による移住・定住人口拡大に向けた取組みの推進

- ー前期基本計画期間の主な取組みー
- ▶ 起業・創業に向けた仕事情報の発信によるU・I・Jターンの促進
  - ▶ 住宅リフォーム助成制度の拡充等
  - ▶ 空き家・中古住宅の流動化の取組み

### 基本施策7 (地域公共交通) 持続可能な地域公共交通の確立

【施策項目】

- (1) ㊩地域公共交通の利便性・効率性の向上による交通弱者対策の推進
- (2) ㊩交通機関の維持存続に向けた利用促進

- ー前期基本計画期間の主な取組みー
- ▶ 地域公共交通体系の最適化
  - ▶ JR室蘭線の存続に向けた利用促進策

### 基本施策8 (消防防災・交通安全・消費生活) 安全・安心な住民生活の実現

【施策項目】

- (1) ㊦自助、共助、公助の連携による地域防災対策・体制の推進
- (2) ㊦地域ぐるみによる地域防犯・交通安全・消費生活対策の推進
- (3) ㊧地域特性に対応した計画的な治山治水対策の推進
- (4) ㊦高齢社会に対応した消防・救急体制と装備の充実

- ー前期基本計画期間の主な取組みー
- ▶ 自主防災組織の設立支援
  - ▶ エリア放送網の受信対策
  - ▶ 治山治水対策
  - ▶ 消防追分出張所の耐震化

## VI 行財政運営分野

基本施策と施策項目 ㊦:成長戦略 ㊧:差別化戦略 ㊨:改善戦略 ㊩:回避戦略

### 基本施策 1 (情報発信) 情報共有と知名度向上につながる発信力の強化

#### 【施策項目】

- (1) ㊦多様な広報媒体を活用した町民との情報共有の推進
- (2) ㊦シティプロモーション戦略に基づく情報発信の強化

- ー前期基本計画期間の主な取組みー
- ▶多様な媒体を活用した情報共有
  - ▶町外向け動画コンテンツやプロモーション映像の制作と発信

### 基本施策 2 (住民サービス) 町民に信頼される開かれた組織づくりの強化

#### 【施策項目】

- (1) ㊦協働のまちづくりの実現とサービス向上を目指した組織体制の強化
- (2) ㊧町民参画手続きの適切な運用
- (3) ㊦人口減少時代に対応した実践型職員の育成
- (4) ㊩地域サポート制度の充実

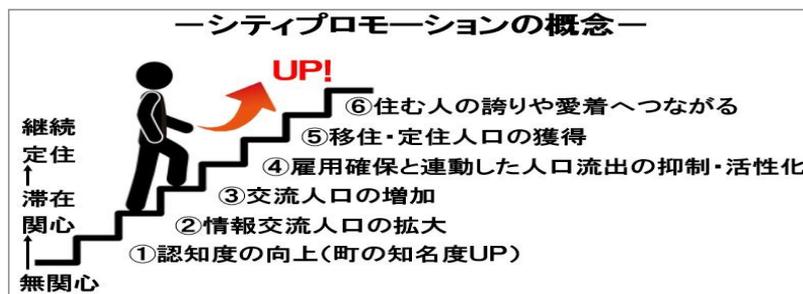
- ー前期基本計画期間の主な取組みー
- ▶町民との協働のまちづくりを推進するための組織体制の検討
  - ▶積極的な町民参画の推進
  - ▶職員の人材育成
  - ▶地域サポート制度の充実

### 基本施策 3 (行財政運営) 将来を見据えた行財政運営の推進

#### 【施策項目】

- (1) ㊦効率性と安全性を重視した行政システム強靱化対策の推進
- (2) ㊦将来に向けた計画的な定員管理
- (3) ㊩行政評価・行財政改革の推進
- (4) ㊩公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進
- (5) ㊩定住自立圏構想を中心とした広域行政の推進

- ー前期基本計画期間の主な取組みー
- ▶PDCAサイクルの確立と行政評価の推進
  - ▶庁舎を含む公共施設の集約・再配置事業
  - ▶普通財産の活用・処分に向けた仕組みづくり



- 【ステップ1】 魅力を情報提供し、知名度の向上を図る。  
 【ステップ2】 ふるさと納税などにより町外ファンを獲得する(情報交流)。  
 【ステップ3】 安平町へ行ってみたいという「交流人口」へ繋げる。  
 【ステップ4】 来訪者の増加による新たな雇用を生み人口流出を食い止める。  
 【ステップ5】 安平町に住みたいという「移住・定住人口」の獲得につなげる。  
 【最終目標】 地域に活力が生まれ住んでいる人が町に誇りと愛着を持つ。

YouTube  
 あびら  
 チャンネル



育てたい 暮らしたい 帰りたい  
みんなで未来へ駆けるまち



第2次安平町総合計画 ダイジェスト版

2017年3月

発行／安平町

〒059-1595 北海道勇払郡安平町早来大町95番地

TEL 0145-22-2511 (代表)

URL <http://www.town.abira.lg.jp/>

企画・編集 安平町企画財政課

写真提供 学校法人 リズム学園